

令和4年度
是川縄文館
秋季企画展

食と縄文人



10/8(土)-11/20(日) 11/3(水)は無料開放

縄文時代の人びとは、狩猟・採集・漁労をしながら、1万年もの長い間定住生活をおくりました。縄文時代の人びとは、命をつなぐために、どのように食料を集め・加工し食べていたのでしょうか。本展では、八戸地域の遺跡からみつかった動物・植物資料を中心に、北東北で暮らした縄文人の食を紹介します。



展示資料

是川石器時代遺跡(一王寺遺跡・中居遺跡)・長七谷地貝塚・畑内遺跡・風張(1)遺跡・新井田古館遺跡・牛ヶ沢遺跡、出土資料 ほか

重要文化財
キノコ形土製品



是川中居遺跡 縄文時代後期

重要文化財
赤色漆塗り注口土器



是川中居遺跡 縄文時代晩期

トチ



是川中居遺跡
縄文時代晩期
(約3000年前)



みんなの好きな
食べ物はなんだ
るん？

関連イベント

※新型コロナウイルス感染症の影響により、内容を変更する場合があります。

企画展 ギャラリートーク

【日時】会期中毎週(土)14:00 ※11月5日は10:00

小中学生向けギャラリートーク

【日時】10月10日(月・祝)、11月12日(土)10:00

企画展 考古学講座 要申込

【日時】11月5日(土)14:00~16:00

【演題】乾燥食料の保存と「あく抜き」
-縄文時代から伝承された「食」の技術

【講師】名久井 文明(物質文化研究所一芦舎)

【定員】50人

○協力 一戸町教育委員会、秋田県埋蔵文化財センター、青森県埋蔵文化財調査センター、階上町教育委員会、八戸市博物館、南郷歴史民俗資料館

埋蔵文化財センター 是川縄文館

〒38-9511 是川字横山1 9:00~17:00(入館は16:30まで) 休10/11・17・24・31、11/4・14 **【観覧料】**一般250円、高校・大学生150円、小・中学生50円 ※市内の小・中学生は無料。市内65歳以上、障害者手帳をお持ちの人と同伴者1人は半額